

浜松医科大学小児科学教室小児循環器科で現在行われている疫学研究

疫学研究とは、人の病気の原因・病態の解明、および診断、予防・治療の方法の確立を目的とする研究です。浜松医科大学小児科では、過去の診療記録より得られた情報を利用して、現在まで行われた小児疾患の診断・治療の評価を行い、そしてより良い診断・治療法を確立し患者さんに還元できるように、下記の疫学研究を行っています。下記の疫学研究は、浜松医科大学・医の倫理委員会の承認を得た後、研究責任者の管轄のもとに、行われます。当院にすでに記録されている臨床情報をもとに行われるため、対象となる患者さんにあらたにご負担をおかけすることはありません。また、この研究の結果は専門の学会や学術雑誌に発表される ことがあります。対象者のプライバシーは十分に尊重され、個人に関する情報(氏名など)が外部に公表されることは一切ありません。

もし、下記の疫学研究にご自身の臨床情報を使用されることに同意されない方は、下記メールアドレスにご連絡くだされば、解析対象から除外させていただきます。同意されない場合でも、診療上であなたが不利益を被ることは一切ありません。また下記研究 に関して、ご不明の点がございましたら、いつでもメールアドレスにお問い合わせください。

当院小児循環器科の研究全体に関する問い合わせ先：

浜松医科大学小児科教室小児循環器

メールアドレス：iwashima@hama-med.ac.jp

1. 研究課題名：PISA (proximal isovelocity surface area)法を用いた心エコー検査による動脈管開存症(PDA)の評価

承認番号	第 25—192 号
対象	先天性心疾患（動脈管開存症患者）
承認日	平成 2 5 年 1 2 月 5 日
研究期間	平成 2 5 年 1 2 月 5 日～ 平成 2 8 年 1 2 月 3 1 日
研究責任者	岩島 覚